

令和5年度
学校関係者評価報告書

令和5年7月4日

学校法人すみれ学園
高知福祉専門学校

学校関係者評価委員会

1. 開催日時 令和5年7月4日（火）14：00～15：01

2. 開催場所 高知福祉専門学校 会議室

3. 出席者

押岡 智雅 （みかづき幼稚園 園長） 欠席

土居 沙織 （高知県介護福祉士会会長）

山本 健太郎 （本校卒業生）

山中 麻記子 （江陽保育園 園長） 欠席

城山 さつき （本校在校生保護者）

植田 厚子 （校長）

久野 貴裕 （社会福祉学科・こども福祉学科 学科長）

中岡 勉 （介護福祉学科 学科長）

奥田 新之介 （事務室 課長代理）

（参加者計7名・書面参加2名）

4. 内容

(1) 開会

(2) 校長挨拶

(3) 出席者紹介

(4) 自己評価概要説明

久野・中岡より自己評価報告書の各学科における目標達成状況の詳細を説明。

(5) 委員による学校関係者評価の発表・意見交換

自己評価報告書について意見交換（別紙参照）

(6) 閉会

別紙

令和5年度 学校関係者評価委員会 意見交換内容

発言1（書面）

コロナ禍で行動が制限される中、全てにおいて高い評価となっており、学校が取り組んできた成果だと感じました。今後さらに人口減少により定員の確保が困難になることが課題になると思われますが、人材の育成、教育活動支援を続けていき、学校の良さをアピールしていくことが存続につながるのではないかと思います。

発言2

コロナ禍が徐々に落ち着いてきている中、施設職員と利用者や利用者のご家族との会話が増えてきておりコミュニケーション能力の需要が高まっています。今後アルバイトやボランティアなどの募集も増えてくると思われるので、ぜひ学生に参加を促し、実習以外でも利用者や施設職員とのコミュニケーションを経験して頂きたいと思っています。

植田校長

ここ数年、学生のメンタル面が弱いことの問題が挙げられていましたが現在も解消されていない状況です。登校するのが精一杯だったり、授業を受けること自体が困難になって中断する学生もいます。こういったメンタル面の問題を抱えている状況下において、コミュニケーション能力を上げる事が難しい学生もいますが、授業の一環としてグループワーク等を実施し、コミュニケーションを図るなどして少しずつ指導・教育を行っています。

発言3

各種団体、関係施設等にて多くの卒業生が現場などで活躍されている場面が見受けられ、先生方が学生の教育・人材育成において尽力して頂いているのを感じています。自己評価にて卒業生への支援体制の整備があまりできていない面においては、様々な

団体と学校が提携していき、卒業生の支援に携わっていきたいと思うのでまた協力できることがあればお声がけ頂きたいと思います。

中岡学科長

今年度、介護福祉学科の在校生と卒業生で、運動会を行いました。在校生は実習や就職活動などについて、卒業生からアドバイスを貰ったり、卒業生と教員間で仕事面について話をしたりなどといった交流の場を設けることができました。卒業生の能力向上やキャリアアップなどの支援については、どのような活動が支援につながるのかを外部の方たちを交え、活動の具体化に取り組んでいきたいと思っています。

【総括】

植田校長

本日は貴重なご意見を頂きありがとうございました。学校とは、単に資格を取得するためだけの場ではなく、社会人になるために教育や指導をする場所でもあると思っており、毎朝登校時の挨拶やオープンキャンパスを通じて外部の高校生、保護者様との接し方などを教育しています。今回学校だけでなく、現場の方たちや関係団体の方たちを交え、社会人としての着地点がどこなのか、現場はどういう学生を求めているのかなどの深入りしたご意見を頂くきっかけとして、学校関係者評価委員会の重要性を改めて感じました。本日は誠にありがとうございました。